

2015年5月12日

クローバー・アセットマネジメント株式会社

代表取締役社長 多根 幹雄

皆さんは『擬態』という現象をご存知でしょうか。昆虫が葉っぱのようになっていたり、枝のようになっていたりして身を隠すアレです。私はそのことをずっと昔から不思議に思っていました。確かに、生物はオス、メスに分かれることで、さまざまな遺伝子の組み合わせを生み出し、自然淘汰によって、環境に適応出来たものだけが生き残って来たのかもしれませんが、遺伝子が起こす偶然だけで、あれほど見事に葉っぱや枝になって行くものなののでしょうか。考えてみれば、恐竜が飛べるようになって鳥になったり、人類が今の形になったりしたのも、遺伝子のいたずらと環境による淘汰の偶然なのではないでしょうか。

これは私の推測ですが、一寸の虫にも五分の魂と言われるように、きっと気の遠くなるくらい何代も何代にもわたって「こうなりたい！」という強い思いが、遺伝子の中に蓄積されていったのではないかと、そしてそれが臨界点を越えた時「突然変異」を起こすのではないかと、思えてならないのです。遺伝子の仕組みが生物に進化をもたらすのではなく、生物の「意志」が、DNAに変化をもたらす、というのが本当の様な気がします。

企業においても、良く「DNA」という言葉を使用することがありますよね。特にカリスマ性のある創業者を持つ企業ほど好んでこのDNAを使っているようです。ただ、ややもすると、創業者の哲学や、情熱をそのまま「受け継ぐ」と言った意味で解釈されていることが多いような気がします。単に「受け継ぐ」だけだと時間の経過と共に弱くなり、やがて衰退の道を歩むことになりかねません。仮にしっかり引き継いだとしても、気がつくやうに環境が変わってしまっていて、時代に取り残されることもあるのだと思います。

ホンモノの企業のDNAは、生物のそれと同じように、創業者だけでなく、企業に関わるあらゆる人間が、創業者の想いの上に、長い時間をかけ何重にも何重にも思いを重ね、それがある時臨界点を越えることで「突然変異」が起こり、大きく進化するものだと思います。つまり創業の理念は単に受け継ぐものではなく、それぞれの「人生をかけた思い」を、上塗りして、益々強くしていくことで、はじめて生きたものなるのでしょう。

長期投資にふさわしい企業の選別においても、例えばその企業の製品やサービスや広告を見る時に、その企業に関わっている人間の「気」のエネルギーの蓄積を感じられるかどうかは、最も重要な要素の一つでしょう。企業が長期で成長を続けるには様々な障害があります。特に環境の変化や、成長に伴う組織内部の変化への対応は最も重要な課題です。このような障害を克服し、永遠に成長を継続するためには、多くの人間の「気」のエネルギーの蓄積が不可欠だと思うからです。

さて、クローバーのファンド達も、我々が選ばせていただいた優秀なファンドマネージャーの皆様のご頑張りのご陰さまで順調に投資成果を上げどんどん成長してくれています。ただ、単にファンドの規模を求めるのではなく、圧倒的な「良さ」を皆で日々追求し、お客様に喜んで頂きたいという思いを蓄積することで、是非『突然変異』を起こしたいものです。皆様のご指導をよろしくお願いいたします。

『時 × 空』投資で創る自由な未来

clover
asset management



今後の日本株式見通し

【日時】 2015年5月23日(土)13:00~15:20

【会場】 メガネの三城 心齋橋本店 3階サロン
大阪府中央区心齋橋筋1-4-26

【費用】 無料(交流会参加の場合は1,000円)

【定員】 40名

【講師】 糸島 孝俊氏 コモンズ投信 運用部長
多根 幹雄 弊社 代表



糸島 孝俊氏



通貨・金利・株価をめぐる政治経済2

【日時】 2015年6月6日(土)13:00~15:20

【会場】 メガネの三城 心齋橋本店 3階サロン
大阪府中央区心齋橋筋1-4-26

【費用】 無料(交流会参加の場合は1,000円)

【定員】 40名

【講師】 平山 賢一氏 東京海上アセットマネジメント チーフファンドマネジャー
多根 幹雄 弊社 代表



平山 賢一氏



今後の日本株式見通し

【日時】 2015年5月29日(金)18:30~20:50

【会場】 ポーラ銀座ビル 4F ミキシムギンザ内
東京都中央区銀座1-7-7

【費用】 無料(交流会参加の場合は1,000円)

【定員】 33名

【講師】 糸島 孝俊氏 コモンズ投信 運用部長
多根 幹雄 弊社 代表



多根 幹雄



ぷらっと銀座で学ぼう会

【第5回】 2015年5月26日(火)14:00~15:30
「賢いバトンタッチ~贈与・相続~」

【会場】 弊社 会議室
東京都中央区京橋3-3-4 京橋日英ビル3階

【費用】 無料

【定員】 毎回申し込み先着6名

【講師】 森田 久美子氏 1級ファイナンシャルプランニング技能士・CFP
田子 慶紀 弊社取締役

『時×空』投資で創る自由な未来

clover
asset management

ファンド概況

基準価額	15,073円	純資産総額	799百万円
設定日	2008年4月24日		
信託期間	無期限		
決算日	毎年2月25日		

期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
3.25	10.68	21.43	32.02	83.55	50.73

分配金(円)

直近3期を表示			
5期 ('13/2/25)	6期 ('14/2/25)	7期 ('15/2/25)	累計
0	0	0	0



基準価額と純資産総額の推移



運用コメント

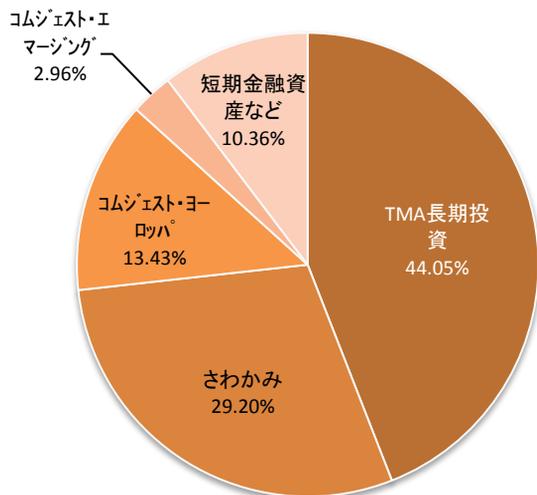
4月の米国株式市場は、予想通り全体に勢いを欠いた展開となりました。前半こそ緩やかな上昇でしたが、中盤から頭打ちとなりました。ECBの金融緩和の後押し、企業業績や経済指標のいいニュースがあっても、一旦は上昇しますが、逆に利上げの前倒しを連想され、下落に転じるという繰り返しでした。月末には、1-3月期のGDPが予想を下回り、FOMCが景気認識を下方修正し、下落に転じました。

一方、日本株式市場は、最終日の大幅下落を除いては多少の調整はあったものの、米国株式市場の影響を離れ、大きく上昇する展開でした。最終日は、日銀の金融政策決定会議において、追加緩和見送りや物価目標2%達成を2016年度前半に先送りするとの決定などもあり、日経平均は500円を超える下落となりました。こうした中、らくちんファンドは、コムジェスト・エマージングファンド、同ヨーロッパファンド、さわかみファンド、TMA長期投資ファンドの貢献により前月比+3.25%となりました。

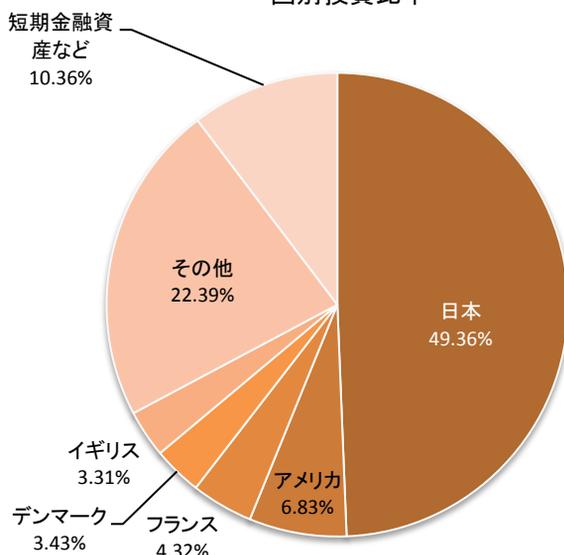
今後も、しばらくは長期的な成長が見込める日本株式市場を中心に運用してゆく予定です。ただ、当面は不安定な状況が続く可能性もありますので、調整局面では積極的な買いを入れてゆく為、引き続き普段より多めのキャッシュポジションを維持していく所存です。

ポートフォリオの状況

資産構成比率



国別投資比率



らくちんファンド純資産総額に対する上位組入れ銘柄・比率

(組入銘柄数: 214銘柄)

順位	銘柄名	事業内容	組入比率	組入れファンド名
1	キーエンス	ファクトリーオートメーション用センサの製造	1.81%	TMA長期投資
2	トヨタ自動車	世界最大級の自動車メーカー	1.55%	さわかみ
3	ブリヂストン	世界最大手のタイヤメーカー	1.54%	さわかみ
4	リンナイ	給湯、厨房、空調等の各機器を製造	1.45%	TMA長期投資
5	エア・ウォーター	総合ガス企業	1.32%	TMA長期投資
6	INTERTEK GROUP PLC	各種工業製品/電気・電子機器の試験サービス、各種マーク認証業務等をグローバルに展開(イギリス)	1.28%	TMA長期投資
7	ファナック	工作機械装置で世界首位	1.23%	TMA長期投資
8	NOVO NORDISK A/S-B	デンマークに本社を置く糖尿病ケアの世界的リーディングカンパニー	1.23%	TMA長期投資
9	ミスミグループ本社	機械加工製品の企画・販売	1.23%	TMA長期投資
10	日揮	石油精製・天然ガス処理等のプラント製造	1.19%	TMA長期投資

ファンドの特色

①「長期投資」を実現するためのファンドです。

- ・長期的に安定した運用が行われているファンドであり、かつ将来にわたってもその運用が継続される可能性が高い複数のファンドを厳選します。
- ・運用にあたっては、景気変動のサイクルに沿った、アセットアロケーションの切り替え（現預金と組入れファンドの投資比率の変更）を大前提とし、景気サイクルのダイナミズムを先取りする形で、資産配分を行っていきます。
- ・運用にあたり、特定のベンチマークを設けることはしません。また、短期的な市場変動に惑わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。

②投資対象ファンドを厳選します。

- ・主として日本株、海外株等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
- ・ファンドの運用方針が明確で、一貫性があることを重視します。
- ・運用資金が安定的に推移し、顧客から継続して支持を受けていることも重要な条件です。
- ・基準価額の推移が運用方針と整合性を持っているかも重要な判断基準です。

③日本株および海外株へ広く投資します。

- ・投資対象であるファンドを通じて、先進国から新興国まで幅広く世界の株式を中心に投資します。
- ・国や企業の高い成長性を世界に求める一方で、グローバルな成長による恩恵を受ける日本企業へも日本株ファンドを通じて、積極的に投資を行います。
- ・日本株と海外株の投資比率は50:50を当面の運用目標としておりますが、相場環境等により、この比率は大きく変わることがあります。

④ファンド・オブ・ファンズの仕組み

- ・個別の株式、債券等に直接投資するのではなく、株式や債券等に投資している複数の投資信託に投資します。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

<お申込みの際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください>

ファンドにかかわる費用

購入・換金手数料	ありません
信託財産留保額	ありません
運用管理費用 （信託報酬）	年率0.972%（税抜き0.90%） 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.6±0.3%（概算）
その他費用・ 手数料	監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等は、純資産総額の年0.108%（税抜0.10%）を上限として投資信託財産から支払うことができます。 *これらの費用は運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

業務管理部からのお知らせ

【ご登録内容の変更はございませんか？】

若葉の緑が目に見えやかな季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

ご転居等によりご住所、ご連絡先に変更はございませんか。

お取引に関する重要な書類や大切なお知らせなどがお届けできなくなりますので、ご変更がございましたら、下記の手順にて必ず変更手続きをお願い致します。

①「登録事項変更届」の用紙を弊社ホームページまたはお電話にてご請求ください。

②「登録事項変更届」にご記入・ご捺印のうえ、ご返送ください。

※弊社ご登録印であることをご確認ください。

※新住所が記載された「ご本人様確認書類」(運転免許証の写し・住民票等)をご同封ください。

③後日、弊社より「登録内容変更の控え」を送付いたしますので、内容をご確認ください。

なお、メールアドレスのご変更は、弊社ホームページまたはお電話でもお手続きを承ります。

<ホームページの場合>

「各種お手続き」→「メールアドレス・レポート受取方法変更」フォームよりご連絡ください。

<お電話の場合>

「メールアドレスが変更となった」旨をお申し出ください。

【投資信託説明書(交付目論見書)発送のお知らせ】

2015年5月下旬以降、対象となるお客様に新しい「投資信託説明書(交付目論見書)」をメール便またはEメールにてお届けいたします。2015年3月現在の運用実績や投資対象ファンド等を記載しておりますので、ご一読ください。

なお、対象となるお客様で「お客様マイページ」にご登録いただきました方は、マイページTOPからも閲覧していただけます。

※「お客様マイページサービス」はインターネットに接続可能な環境から資産状況の確認、各種報告書の電子交付、各種お手続き書類の請求が可能となります。ご利用いただくには、「電子交付サービス」へのお申し込みが必要です。

ご不明な点等ございましたら、弊社業務管理部までお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

【毎月つみたてスケジュール】

引落開始月	新規申込・引落口座 変更締切日	引落金額変更・ 中止・再開締切日	引落日	約定日
平成27年6月	受付終了	5月25日(月)	6月5日(金)	6月17日(水)
平成27年7月	6月3日(水)	6月23日(火)	7月6日(月)	7月16日(木)

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話でも承っております。その際、ご本人様確認(氏名、住所、現在の契約内容等)をいたしますので、予めご準備をお願いいたします。

クローバー・アセットマネジメント株式会社 業務管理部 (受付時間: 平日9時～17時)

TEL: 03-6262-3923 / E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp

当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります)に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用による損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。